

【第14回 設問】

問題1

電子署名は、どのような仕組みで行われるのですか。

問題2

電子署名法は、どのような目的で制定されたのですか。

問題3

Xは、友人でパソコンおたくのYから金10万円を1か月間貸して欲しいと電子メールで懇請された。急に借金の申し入れをしてくるのを不審に思ったが、年末で忙しいときだったので、会って話をする余裕がなく、それまで友達付き合いがあったことから、10万円を貸すことにし、その旨返事をした。すると、すぐに、Yから借用書という表題のファイルが添付された電子メールが送られてきた。Yからのメッセージによると、これは自分が日頃使っている電子署名を施してあるという。Xとしては、ここまでしっかりした書面を送ってくれたから、あとで揉めることはないと考え、すぐに携帯電話を使って、指定されたY名義の預金口座に送金した。

返済期限が来たので、Yからの連絡を待っていたが、一向に連絡がなかった。たまたま偶然会う機会があり、Yに10万円の返済を求めたが、Yは、びっくりしたような顔をして、そんなこと知らないという。Xは、電子署名まで施してあるのではないかと主張し、自分のモバイルパソコンの画面を見せたが、Yは、それは確かに日頃自分が何回か使った電子署名だが、自分がそんな借用書を送ったことはないと言い張った。Xは、Yの主張になにか不自然なものを感じ、さらに追及したが、Yは、それなら自分が署名したものであることを証明しろとまで言い出した。

上記のような事実関係のもとで、Xとして、「借用書」の真正を証明するためにどのように主張・立証を進めたらよいかについて検討してください。